

市民公開講座 「ここまで進んだ消化器内視鏡！」

講師：大分三愛メディカルセンター 消化器病・内視鏡センター長 錦織英史

市民公開講座の講演中に募集しました、みなさまからのご質問に対する、医師・錦織英史の回答を掲載いたします。

質問	回答
Q:内視鏡治療は入院はどのくらいになりますか。	たとえば早期胃癌の治療で、1週間～10日程度です。早期大腸癌の治療でも1週間程度は必要です。ただ大きさや治療後の合併症の有無でも変わってきます。
ピロリ菌の発見は血液検査でもできるものですか。	出来ます。血液中の抗体検査というもので、感染しているかどうか分かります。抗体というのは、菌に対して身体が作り出す免疫物質です。しかし、過去に感染しても身体には反応性が残っていますので、今いなくても陽性になってしまうことがあるので、除菌治療後にはあまり用いられません。
超音波内視鏡の費用はどのくらいでしょうか。	純粋な検査費用は、3割負担で4320円ですが、これに点滴代や麻酔のお薬代が入りますし、初診だと初診料などもかかります。単独の検査では1万円まではかかりませんが、造影超音波検査を追加する場合には超えてしまうかもしれません。
ピロリ菌がいる人といない人がいるが、どういう経過でピロリ菌を保有するのでしょうか。また、一度薬で処理しましたが再度菌は出来ますか？	ピロリ菌の感染理由ですが、じつは、どのような感染経路であるかはまだはっきりわかっていません。 ただ、口から入れれば感染することは間違いのないようです。大部分は飲み水や食べ物を通じて、人の口から体内に入ると考えられています。 それでは、生水を飲んだり、キスでピロリ菌に感染してしまうのでしょうか？ 上下水道の完備など生活環境が整備された現代日本では、生水を飲んでピロリ菌に感染することはありません。また、夫婦間や恋人間でのキス、またコップの回し飲みなどの日常生活ではピロリ菌は感染しないと考えられています。 ピロリ菌は、ほとんどが5歳以下の幼児期に感染すると言われています。幼児期の胃の中は酸性が弱く、ピロリ菌が生きのびやすいためです。そのため最近では母から子へなどの家庭内感染が疑われていますので、ピロリ菌に感染している大人から小さい子どもへの食べ物の口移しなどには注意が必要です
ピロリ菌の治療をしても再発しやすいと聞いたことがありますけど本当ですか。	日本で行われたいくつかの研究では、ピロリ菌除菌後の再発率は0.22～2%と報告されています。ピロリ菌の主な感染ルートとして「水」が考えられているのですが、上下水道の衛生環境が整うにしたがって感染率が低くなっています。海外の文献では再発率が10%を超えているものもありますが、上下水道の衛生環境の違いなどによる差も関係しているようです。現在衛生環境が整ってきた日本では「水」を介する感染の機会は少ないといわれています。一般には大人になってからのピロリ菌感染は自然治癒しやすいともいわれていますが、一方で遺伝子型の違うピロリ菌に感染したという報告もあり再感染が全くないというわけではなさそうです。
ピロリ菌の検診は胃内視鏡をうけないとだめですか。	健診オプションで行う場合には、内視鏡検査は必須ではありません。日常診療でピロリ菌の感染を疑うきっかけが内視鏡検査であることが多く、この場合は保険診療になります。 血液や尿の抗体検査の費用は2,000円前後ですので、感染診断だけ自費で行うのも方法のひとつかもしれません。
健診目的でも超音波内視鏡検査は受けられますか。特に症状がなくても・・・費用はどのくらいでしょうか。	健診目的でも一度当院外来で相談してください。ちなみに自費の場合は、15000円に点滴代や麻酔のお薬代が入ります。膵癌リスクがある場合以外でも、胆管、胆嚢の病変の診断にも使用されますので、何らかの病名がありましたら検査を受けることは可能です。
便秘がひどくていつも下剤を服用しています。薬を飲まないと出ません。その場合は大腸がんのリスクは高いですか。	下剤を長期間服用した患者からは大腸ガンが増加するとの海外報告があがっています。また、週に2回以上下剤を服用する人々は、そうでない人々に比べて、大腸ガンのリスクが2.75倍になることが東北大学の研究より報告されています。
食道と胃内視鏡検査は、1～1年半毎に受けていますが、大腸の検査はどの程度の間隔で受診するのが適当でしょうか。	学会でも議論されるのですが、結論はでていません。 大腸ポリープが発生してからがんになるまで数年（おそらく5年以上）かかると思われるので、一度、内視鏡を受けてポリープを完全に摘出してしまえば理論上、5～6年はがんの心配がないといえます。しかし実際には、（1）検査時に小さなポリープを見落としてしまう危険がある（2）時に、非常に早いスピードで成長しがん化するポリープがある（平坦型、陥凹型が早いといわれています）（3）ポリープを経ないがんもある（De Novoがん）の理由で大体1～2年ごとの検査をすすめるのが一般的です。
2年半内視鏡をしていませんが、その時はポリープが5個位（良性）あったのですが、この1～2年でもかなりの進行がんの可能性は高いのでしょうか。	ポリープが良性だったとしても、大きくなってきていると癌が内部に発生している可能性もあります。ポリープのタイプにもよります。タイプが完全に良性なら良いのですが、1～2年の間に前回の検査で見逃されていたポリープが大きくなってきていることもありますし、そろそろ検査をおすすめします。早く増殖するタイプのもありますが可能性は少ないです。ただ検査をしないと症状がほとんどないだけに、評価は出来ないと思います。

質問	回答
内視鏡手術のときと手術のときの入院日数はどのくらい違うのか。	手術で胃がんを治療した場合、平均入院期間:15日～20日 合併症がおこればもっと長くなります。内視鏡の早期胃癌治療は1週間程度です。
放射線・抗がん剤の回数はどのくらいですか。乳がんだと3週間1クールで6～8クールというのを聞いたことがあります。	<p>抗癌剤治療の期間は、病状に応じて変わります。最初から外科治療が出来なかった場合の抗がん剤治療は、効果がなくなるまで続きます。逆に、外科的切除後の追加治療としての抗癌剤は半年間行うことが多いです。現在の抗がん剤治療は種類が増えており、内服抗がん剤のみでできるものから、点滴で何種類も使用する場合とそのメニューによって2週間1クールであったり、4週を1クールにしたりと様々です。その選択は癌の種類、ステージ、年齢、もともとの持病等によっても色々と考えられ決められるものですので一概には言えません。</p> <p>例えば切除できない膵臓がんで、放射線治療を併用する場合、抗がん剤に併用して毎日行い3週間くらいです。合計で当てる線量に限りがあるので、放射線治療は最初に行われてその後は化学療法のみになるような治療です。</p>
胃部に多数のポリープがある場合のガンへの変化はどのくらいの時間が一番多い等のデータがあるのでしょうか。又、胃部に多数存在すると大腸の方へもポリープが発生しているのでしょうか。	<p>胃のポリープはその9割がガンにはならないポリープです。20mm程度に大きくなるものは要注意とされています。</p> <p>また、大腸ポリープは、胃とは逆にその9割が腺腫性ポリープで、ガンに移行する危険性があるポリープです。2～3%が移行すると言われますが、大きくなればその癌化率は上がってきますので、治療をおすすめします。</p> <p>大腸ポリープには、遺伝的に大腸に数百個できる病気があって、この病気の人だけが「大腸がんにかかりやすいポリープ体質の人」と言えますが、この家族性の遺伝病の方はとても珍しいので、まず大丈夫と思っていいと思います。</p> <p>40歳を過ぎたら、胃は毎年、大腸内視鏡も2～3年に1度受けていれば、仮にガンになったとしてもほとんどの場合は早期発見で完全治癒しますから、あまり心配ありません。特に大腸がんは、末期がんになるまでに10年以上の経過をたどる病気ですし…。</p> <p>胃のポリープと大腸のポリープはまったくの別物です。</p>
検査費用はどの程度かかるのか。	例えば保険診療の場合、3割負担で胃カメラ単独で3400円 大腸カメラ単独で4650円、超音波内視鏡は4320円ですが、これに点滴代や麻酔のお薬代が入りますし、初診だと初診料などもかかります。単独の検査では1万円まではかかりませんが、造影超音波検査を追加する、ポリープを取った、組織検査を行ったなど、いろいろな追加があれば1万円を少し超えるのではないかと思います。
スキルス性胃がん等の急性の病気に対する検査法（特に血液や尿、汗等検出する方法等）はないか。スキルス性胃がんの治療法（内科的なもの）を知りたい。	<p>血液検査で分かる腫瘍マーカー（CEA、CA19-9など）早期のガンでは上昇しにくく、スキルス胃がんでは、陽性でないこともかなり多い印象です。その他、血液検査でわかるがんのマーカーAICS（アミノインデックスがんリスクスクリーニング）とは？血液中のアミノ酸濃度を測定し、健康な人とガンである人のアミノ酸濃度バランスの違いを統計的に解析することで、ガンに罹患しているリスクを評価する新しい検査です。健康な人の血液中のアミノ酸濃度は、それぞれ一定に保たれるようにコントロールされていますが、さまざまな病気になると、一定に保たれている血液中のアミノ酸濃度のバランスが変化することが分かっています。この性質を応用したのがAICSです。こういった検査は健診の中で調べるしかないもので、検査を実施している医療機関（当院では施行していません）に相談していただく早期発見のきっかけにある可能性はあります。</p> <p>我々、内視鏡検査医の立場からすると、症状がなくても定期的に内視鏡検査を受けていただければ、早期のスキルス胃がんも発見できる可能性が高くなると思います。粘膜の表面の色調の変化や胃壁の異変をとらえる検査は内視鏡検査が重要と思われます。スキルス胃がんとなるタイプの組織型の悪い胃がんでも、20mmまでの早期胃癌であれば、内視鏡切除可能である可能性があります。（現在研究がすすんでいます。）内視鏡で見つけて、治療するのが内科的治療、内視鏡治療のみで完治しない場合、外科切除、抗がん剤治療になります。やはり早期発見には内視鏡検査だと考えています。</p>
開腹手術をしたときの回復状況についてお聞きします。内視鏡手術なら申し分ないのですが、やむを得ず、回復した場合、筋肉も含め、元どおりになるのか、手術の大・中・小に別けて教えてほしい。私はゴルフが大好きなんですけど、こんなハードな動きにもたえられる程、回復するでしょうか。	開腹手術後は筋肉や神経を傷つけます。しかし、再生機能があるのが人間の組織です。手術直後は運動は難しいですが、傷や神経は時間をかけて回復しますので、ゴルフは可能と思われます。入院が長くなり、筋力がおちて、すごく疲れやすくなったりしますので、急に運動はできません。傷が完全にくっついてから、徐々に運動をはじめ焦らずリハビリをしていく必要があるでしょう。
早朝ウォーキング時、50分位歩いた時大便を催します。対応はどうしたら良いですか。	歩くことで腸は蠕動運動を行います。便意が起こるのは仕方がないことです。大便を催すのは自然現象ですので、我慢せずにトイレに行かれてください。便意を我慢すると便秘になり、腸の負担になります。
1年に1回は胃カメラ、大腸カメラの検査をしています。かかりつけの医院では組織検査の結果は約1週間待ちますが、三愛病院ではその日その場でわかりますか。	組織検査はやはり1週間程度かかります。組織をとってからホルマリンにつけて細胞を固定し、顕微鏡でみるための準備を行うのに数日必要です。
超音波内視鏡検査は保険診療できますか。	可能です。

質問	回答
<p>今三愛メディカルセンターに外科の方にかかっていますが、症状がないと受診が出来ない事が聞いたのですが、出来たら受診を受けられるようにしたらどうか。健診センターを受けたいけど料金がわからないので</p>	<p>外科にかかっているということは、病気の治療後等で通われているのでしょうか。内科的な検査の相談であれば、病気の経過を追うための検査であれば現在症状がなくても保険適応となることもありますので、まずはご相談ください。</p>
<p>膵臓がんにすごく感心がありましたので錦織先生の話は良かったです。もともと糖尿病が（20年以上）ありますので心配です。今のところ、肥満、アルコール、身内もタバコ、何もないけど知り合いが2人膵臓がんで亡くなっていますので心配です。今年春に胃がん、大腸がん検診を受けましたので、来年又膵臓がんを含め、検診したいです。</p>	<p>糖尿病、肥満、アルコールなど、膵臓がんの危険因子となりますので、膵臓の前段階の兆候がないかどうか、ぜひご相談ください。</p>
<p>数年前から背中を中心より右側が痛み、整形での造影剤のCT検査を受診したが、特に原因が分からず痛みは恒常的に続いている。「すい臓」ガン等の疑いがあるか。いずれの検査を受けるのがベターでしょうか。</p>	<p>背中を中心より右側の痛みですが、どのようなタイミングで起こってくるかが重要です。食後など食事に関連して痛むのであれば、膵臓、胆管、胆のう、十二指腸、上行結腸など背中側にある臓器からの痛みの可能性があります。造影CTでわからないような小さな変化を調べられるのは超音波内視鏡検査が得意です。上行結腸の評価は、大腸内視鏡検査が必要です。</p> <p>一方、夜休んで朝方に痛む、同じ姿勢をとっている後に痛みが悪化するなどの場合は、同じ姿勢で筋肉が硬直したり、血流が障害される、骨の変形が神経を圧迫するなど整形外科的な痛みかもしれません。胸椎・腰椎のMRIで脊髄神経の圧迫がないかどうかを調べる必要があるでしょう。</p> <p>原因がわからない慢性の神経痛などの時には慢性疼痛治療薬などが効果を示します。</p>
<p>数年前、腸炎になりました。「腸の風邪だから治ってもまたなるよ。」とお医者さんに言われ薬を飲んでいましたが、結局完治したかどうかわからず最近また腸の様子が気になります。以前はエコー検査でしたが、他の方法で見てもらうこともできますか？また完治するには気を付けること等あれば知りたいです。</p>	<p>腸炎にはいろいろな原因がありますので、ウイルスや細菌が関与する一時的な腸炎は風邪みたいなもので、ほっておいても完治しますが、腸内細菌叢が乱れて（善玉菌と悪玉菌のバランスが乱れる）しまうと調子が悪い状態が長引くこともあります。</p> <p>腸の調子が悪い、またはそれを繰り返すのであれば、慢性腸炎がベースにある可能性もあります。便の中の細菌感染が無いかを調べたり、腸の組織をしらべ顕微鏡的にも腸炎が起こっていないかを調べる必要もあります。症状にもよりますが、内視鏡検査で評価する必要があると思われます。</p>
<p>前立腺肥大で検査をしました。2泊3日で退院しました。1日半位血尿が止まらなくて退院して2カ月になりますが、性欲も落ちて心配です。週刊誌に最近出ている記事で、医者が出す薬とか手術をしない方がよいとか出てます。医者の方はどう思いますか。</p>	<p>前立腺生検（前立腺の一部をかじって顕微鏡でがん細胞がないかどうかを調べる）でしょうか。性欲がおちたとのことですが、前立腺の病気の進行で落ちることがあるようです。</p> <p>検査については、主治医の判断によりますが、PSA値（前立腺腫瘍マーカー）あるいは肛門からの触診（直腸指診）で前立腺癌が疑われる方には、前立腺生検を行うことを勧められます。できるだけ無駄な生検を行わずに、年齢、PSAの上昇の程度、前立腺の大きさなど様々な面からがんが疑われる場合に前立腺生検を行うようにしていると思われます。</p> <p>医者の出すクスリや手術はしない方がよいと謳う記事などが最近よくありますが、極論だと思われます。不必要な薬なら飲む必要はないですが、その判断がなされるのは病気があるからですので、疑問に思うのであれば、なぜ必要なかを主治医の先生に確認されるとよいでしょう。そこで答えてくれないような医者にはかからない方がよいと思います。手術に関しても同じです。かならず説明があると思いますので、納得できる内容であれば手術を受けられるのがよいと思います。</p>
<p>胆のうにポリープがあり4mmでした。動脈硬化と石灰化と言われましたが気を付けることはどうしたらいいでしょう。</p>	<p>胆のうポリープは10mmくらいまでは様子を見ます。大きくなるようならがんの危険性がありますので、定期検査を忘れないように気を付けてください。</p> <p>動脈硬化や石灰化（おそらく血管）と思われますが、血管が固くなるのは歳をとるだけでもします。これは仕方がないので、気を付けようがないですが、高血圧や肥満、糖尿病、コレステロール、タバコは動脈硬化進行を早めますので該当されるものがあれば、意識して治療されてください。</p>
<p>胃に良性の腫瘍があり2cmになったら手術を考えています、と言われました。</p>	<p>胃のポリープはその9割がガンにはならないポリープです。20mm程度に大きくなるものは要注意とされています。胃のポリープはその9割がガンにはならないポリープです。20mm程度に大きくなるものは要注意とされています。</p> <p>また、大腸ポリープは、胃とは逆にその9割が腺腫性ポリープで、ガンに移行する危険性があるポリープです。2～3%が移行すると言われますが、大きくなればその癌化率は上がってきますので、治療をおすすめします。</p> <p>大腸ポリープには、遺伝的に大腸に数百個できる病気があって、この病気の人だけが「大腸がんにかかりやすいポリープ体質の人」と言えますが、この家族性の遺伝病の方はとても稀です。</p>

質問	回答
<p>逆流性食道炎の症状について質問です。(発病して2年です)パリエット(10mg)を1日1錠飲んだり飲まなかったりです。飲まなくても不快感(ゲップや胃部膨満感や熱い感じetc.)がない日や薬を飲んでいても不快感があるなど、症状が一定しません。薬はやはりとごれなく飲み続ける方がよいのですか?以前、9カ月連続服用しましたが今は調子の悪い時だけ飲んでます。</p>	<p>逆流性食道炎の治療はパリエットのようなプロトンポンプ阻害薬という胃酸の酸度を落とすお薬が主体です。ただ治りにくいかたも多く、再発も多いのです。原因は、胃と食道をつなぐ噴門のゆるみによるものがありますが、食生活、姿勢、便秘、下痢、胃腸の動きが悪い、老化も要因となります。</p> <p>内服薬でも起こることがあり、カルシウム拮抗薬というタイプの高血圧の内服を長期飲まれている方は一度変更を試みるとよいかもかもしれません。</p> <p>日常生活の改善だけでも緩和されることがあります。暴飲暴食、早食い、食後すぐに横になることは、さける方が良いでしょう。</p> <p>具体的には、胸やけを起こしやすい食品の摂取を控えることです。脂肪の多い食物、チョコレートなどの甘いもの、柑橘類、コーヒー・紅茶、香辛料、アルコール類、タバコなどは胃酸の分泌を高める、あるいは、胃内での食物の停滞時間が長いいため、逆流を起こし易いとされています。</p> <p>食後すぐ横になると胃酸が逆流しやすいので、食後1-2時間は横にならないようにする。寝るときに胸やけが強い場合は、寝る前の食事は避け、夕食の量は少な目にして、上体を少し高くして(寝るときに頭部が10-20cm程度高くなるように、クッションやマットを折り曲げて布団の下に敷く等の工夫をするとよい)寝ると効果的です。横向きに寝る場合は、左を下にして寝るとよい。うつ伏せは避けた方がよい。</p> <p>腹圧を上げないようにする(重いものを持たない、前屈みを避ける、ベルトを強く締めない、排便時に力まない)。腹圧が上がることによって逆流しやすい状態になります。</p> <p>肥満解消に努める。食べ過ぎない。ゆっくり食べる。早食いを避ける。過食は胃酸の分泌や胃内の圧を上げるため、特に夕食は“あっさりとしたものをほどほどに摂るようにする”などです。</p>
<p>前立腺肥大の完治策。放置しても問題はないか?排尿促進剤の副作用は?漢方で完治は?</p>	<p>前立腺肥大症の治療には、大別すると薬物治療、手術治療、保存治療の3つがあります。先に述べた、肉眼的血尿、尿路感染、尿閉、膀胱結石、腎機能障害などの前立腺肥大症による合併症がみられる場合には、手術治療が行われますが、それ以外の場合は、まず薬物治療が行われます。前立腺肥大症の手術治療としては、最近新しい技術が開発され、様々な治療法がありますが、内視鏡手術が標準的な手術として行われます。</p> <p>前立腺肥大症は時に症状がなければ放置しても問題ありません。しかし、「尿の勢いが弱い」、「残尿感」や「頻尿」を放置すれば、様々な問題が起こってきます。ひどい時などは知らず知らずに「尿閉」といってオシッコが全く出ない状態になることがあります。この場合腎不全といって命にかかわることもあります。少しでも排尿にお困りのことがありましたらお早めに泌尿器科を受診してください。</p> <p>排尿促進剤の副作用は? 薬の種類によります。</p> <p>①アルファ1アドレナリン受容体遮断薬 急な血圧低下(起立性低血圧)によるたちくらみなどの副作用を起こす可能性があると言われます。他には、めまい、下痢、射精障害などがみられることがあるようです。</p> <p>②5α還元酵素阻害薬 この薬は血液中の男性ホルモン(テストステロン)を減少させることがないため、勃起障害や性欲減退などの副作用はまれです。</p> <p>③抗アンドロゲン薬(抗男性ホルモン薬) この治療薬は血清テストステロン値を低下させるために、高頻度で勃起障害や性欲低下などの性機能障害などの副作用が見られます。また、うつ血性心不全、血栓症、肝機能障害、糖尿病などにも影響を及ぼす可能性があります。</p> <p>漢方で完治は? これら治療薬には殆ど副作用は見受けられません。但し、効果も治療薬としてではなく症状緩和としての目的が大きいです。したかって完治させるのものではなさそうです。</p>
<p>ピロリ菌の大きさは?</p>	<p>0.5×2.5×4.0μm ※1μm = 0.001mm</p>

質問	回答
<p>ぜん息の場合、X線の造影剤は副作用があるそうですが、すい臓がんの場合のEUS内視鏡の造影剤は影響はないですか。</p>	<p>ありません。</p> <p>超音波内視鏡で使用する超音波造影剤は、超音波に対して安定なマイクロバブル（小さな気泡）であり呼気に排泄されるため、アレルギー性副作用も少なく肝腎障害を有する方にも使用可能です。卵アレルギーには注意が必要です。</p> <p>造影ハーモニックイメージング法による安定した映像と長時間の観察を可能とし、これまでの造影剤では不可能であった微細な血流情報のリアルタイムな評価が可能です。</p>
<p>膵癌は痛みがないとのことですが、健診でも膵癌の検査はないと思います。毎年1回程度検査をした方がよいのでしょうか。また、胆のう癌の検査はどのようにするのですか。どちらも定期的に検査をした方がよいのでしょうか。</p>	<p>すい臓がんのリスクファクターというものがかかっていて、素因のある方は少なくとも年に一度は検査を受けるべきと思っています。素因というのは、糖尿病の治療中の方、糖尿病を指摘された、血のつながった家族に膵癌の方がいる、慢性膵炎がある、膵にのう胞がある、膵炎を起こしたなどです。生活習慣では、タバコ、アルコール多飲、肥満なども膵癌のリスクファクターです。</p> <p>胆のう癌は比較的体の外からのエコー検査でも見えやすく、短時間で、費用も安く、異常がない方も検診のオプションとしてでも定期検査を受けているとよいでしょう。</p>
<p>どういった経路でピロリ菌が胃にすみますか？親がくちでかんだものを子に与えるとピロリ菌が移動すると聞きましたが本当ですか？</p>	<p>本当です。ピロリ菌は、ほとんどが5歳以下の幼児期に感染すると言われています。幼児期の胃の中は酸性が弱く、ピロリ菌が生きのびやすいためです。そのため最近では母から子へなどの家庭内感染が疑われていますので、ピロリ菌に感染している大人から小さい子どもへの食べ物の口移しなどには注意が必要です</p>
<p>急性膵炎になったことがあります。慢性膵炎から癌化する可能性の説明がありました。急性⇒慢性への進行はありますか。（高校時代→現在62才）背中痛、右下腹部痛は危険ですか。</p>	<p>急性膵炎後の慢性膵炎への移行率は3～15%といわれています。背部痛は膵臓からの症状の可能性もありますし、現在、膵炎があるかどうかを諸検査（血液検査、超音波内視鏡等）で一度確認されることをお勧めします。</p>
<p>母が胆石症です。「胆石を持っている。胆石が大きもう切除は難しい」と言われました。上手く胆石持ちとして長生きするには生活の中で何に気を付けるべきですか？また胆石症は膵癌のリスクになるのでしょうか？</p>	<p>胆石の切除は、基本的に腹腔鏡で行っています。最短5日程度で退院可能な手術ですので、大きいから手術ができないというより、他に理由があるのかもしれない。あまりご高齢であれば、症状がなければ手術をすすめないと思います。胆石があって問題になるのは、症状がないまま慢性炎症を繰り返し胆のうがんに発展しないかどうかなどは気を付けたいところです。定期検査をしっかりと受けられてください。また、右の肋骨の内側に痛みが出ないかどうか、症状があれば早めに受診して治療を受けないと、胆のう炎を発症した場合に敗血症になりやすい病気です。</p> <p>胆石は膵癌のリスクではないですが、胆石から慢性膵炎となることもありますので、慢性膵炎そのものが膵癌のリスクであることから間接的には関連があります。</p>
<p>ピロリ菌の除菌1回目は除菌できず、2回目を受けようとしたところ、市の健診で肝臓の数値が悪く経過観察中です。γ-GTPが高いのですが、原因不明。ピロリ菌がいるままだと不安ですが、食生活その他気を付けることはありますか？年に1回胃カメラ、大腸カメラを受けていこうとは思っています。お酒は飲みません。60才・女</p>	<p>肝機能の数値にもよりますが、まずそちらの原因を調べて治癒してからピロリ菌治療にはいるとよいでしょうね。ピロリ菌がいたままで気を付けることというのも、難しいですが、ピロリ菌の活動性が高まるのはやはり、自分の体の免疫力が弱ったときと思われます。</p> <p>疲れや睡眠不足、ストレス、暴飲暴食、不規則な生活などは悪化因子と思われます。お酒は飲まれないとのことですので胃の負担は少なそうです。</p>
<p>超音波内視鏡の検査の申し込みはどのようにすればいいのですか。</p>	<p>検査は、消化器内科の錦織、佐上が担当しております。消化器内科外来を受診させていただきます。</p>
<p>EUSにはどのくらい時間がかかりますか。費用はどれくらいになりますか。</p>	<p>一回の検査時間は20分程度です。ただ、麻酔を使用しますので、事前に点滴を開始したり、検査後には麻酔が醒めるまで1時間は要します。ゆっくり時間が取れるときにお越しくください。</p> <p>純粋な検査費用は、3割負担で4320円ですが、これに点滴代や麻酔のお薬代が入りますし、初診だと初診料などもかかります。単独の検査では1万円まではかかりませんが、造影超音波検査を追加する場合には超えてしまうかもしれません。</p>
<p>健診はバリウム検査と内視鏡検査とどちらが有効ですか？</p>	<p>内視鏡です。バリウムでは小さながんや平坦ながんは見逃しがちです。胃の変形を伴うような大きな癌はバリウムでも見つかりますが、大きな癌で見つけても治療は開腹手術や抗がん剤といった辛いものになりますので、やはり内視鏡を推奨させていただきたいと思っています。</p>
<p>ピロリ菌は何歳くらいからいる人がいるのですか？何でピロリ菌がいるようになるのか、わかれば教えてください。</p>	<p>ピロリ菌は、ほとんどが5歳以下の幼児期に感染するようです。大部分は飲み水や食べ物を通じて、人の口から体内に入ると考えられています。上下水道の発展で、衛生環境が良くなった現代では感染者は減っているようですが、都市部より郊外の方が感染率はやや高いと言われています。</p>

質問	回答
<p>私はもしや大腸がんではないかなと心配している一人です。どのような症状がみられるのでしょうか。便秘がち、下痢がち、頻便、1日に3・4回くらいとかそのような状態があるのでとても心配です。人の前で言うのは恥ずかしいのですが・・・</p>	<p>症状はかなり多いので列挙します。  おならの回数が多いくなったり臭くなったりします。大腸がんで出血がある場合は、血の臭いがおならに混ざって出てくるため、臭いおならが出ます。また、がんが腐敗してしまうと、腐敗臭を伴ったおならがでます。  下痢や便秘など、便通が変わってきます。  便意を良く感じるようになります。しかしトイレに行っても思ったように便がでないため、トイレに長い間入っているようになります。残便感があるなどもサインの一つです。  下腹部がチクチクするような感じがしたり、違和感を感じる場合があります。  また出血により貧血傾向になります。貧血が起こると、疲れやすくなります。  食欲不振  腹部の膨満感(はり)  下血  便が細い  症状が出ている状態はかなり進行していることもありますので、少なくとも便潜血検査での大腸がん検診や大腸内視鏡検査を3年おきくらいに受けられることをお勧めします。</p>
<p>28年5月にかかりつけの病院で胃の検査を受けました。その結果、早期胃がんと言われました。それで私が（セカンドオピニオン）をしましたが、ガンはないと言いました。そのことを検査した先生に言ったら写真を見て表面の下に悪性のがんがあるから早く紹介するのでどこの病院がいいかね、と言われました。か私は写真でよく説明していただいた先生を信用しています。かかりつけの先生を裏切ったのでしょうかね？プライドを傷つけましたでしょうか？どうしたらよいでしょうか。決断は私がしっかりしないと思います。</p>	<p>粘膜の下に存在する胃癌は少なからず存在します。一度がんの診断がつけば、治療を行っていただきたいと思いますが、がんのある・なしが病院によって違うのは、粘膜のがんなのかもしれない。慎重に治療方針を決める必要があると思います。信頼できる先生とよく話して最終方針を決めていただきたいと思います。</p>
<p>膵癌術後、胆管炎の発症が時々ありどう対処すれば良いのか分かりません。何か気をつける事があるのでしょうか。</p>	<p>すい臓の十二指腸に近い部位にがんができると、膵臓ごと十二指腸を切除しないとイケません。切除後は、胆管と直接腸をつなぐ手術、胃と膵管（膵臓内にある消化液のながれる管）や腸をつなぐ手術を行い消化機能を維持するようにします。もともと胆管と十二指腸の間に十二指腸乳頭といって胆汁の排泄を調整する部位があり、開いたり閉じたりして、消化液を調整しています。術後はこの部位も切除されるので、腸内と胆管内を自由に細菌がいたりきたりできます。  胆管炎の発症は、本来無菌である胆管内に細菌が増殖するとおこることがあるので、術後はとくに危険があります。気を付けることは、物理的には難しいかもしれませんが、せめて腸の内圧をあげないように便秘に気を付ける、おなか一杯食事をせず腹八分にするなどの対処かと思います。異変があれば、はやめに治療するしかないでしょう。肝内に結石が発生している場合は、結石治療を行う必要もあります。</p>
<p>70才男性です。野球部で、軽いストレッチや素振りなどをしていますが練習が始まると急に身体を動かすことがあります。そこで脇腹や横の腹筋が痛みますが筋肉痛でいいのか内臓の一部に痛みがあるのか気になることがあります。今のところはしばらくすると痛みは消えます。それで今のところ安心はしています。でも今後年をとると少し心配です。</p>	<p>身体を動かしたときに痛むのは、筋肉・骨格系からの痛みの可能性が高いと思いますが、では内臓に何も無いとは言えないもの事実です。  お歳とともに臓器も老化します。年齢ごとに発がんリスクは高くなります。身体の定期メンテナンスは必要ですから、内臓の検査は、年に一度程度計画されると安心と思います。</p>
<p>おならがとっても臭くきつい人がいます。人間ドックではがんは引っかかりません。大腸をチェックしたほうが良いと思うがなかなか行こうとしないうしく腸の中から毒が出ている感じです。</p>	<p>大腸がんの可能性もあります。大腸癌では壊死した細胞が腐ることでも強い悪臭を放ちます。また、胃腸に潰瘍や炎症があるとガスも多く発生するためおならがよく出る傾向もあると言います。下血や続く腹痛など気になる症状がある場合は早めに検査しておきましょう。  腸内環境のバランスが悪い時もおならは臭くなります。次のような食生活をしている方は気をつけてください。  食物繊維や乳酸菌の摂取が少ない  肉などの「タンパク質」や、 にんにく、ニラ、玉ねぎ、大根、キャベツ、ブロッコリーなどアブラナ科の野菜。牛肉、羊肉。牛乳  これらの食べ物臭いガスの成分である硫化水素のもととなります。  ストレスが増えてくると、胃腸の働きが鈍くなるかたもいます。そうなれば、ガスや便が腸の中に滞りやすくなり、腸内環境はどんどん悪化し、臭いガスが出ることがあります。  便秘などが原因で、腸内には大量の便が残っている状態になってしまいます。その状態が続くと、腸が思うような動きができなくなり、腸内環境はますます悪化していきます。</p>
<p>検診コースの価格を表示してくれるとわかりやすいと思いますが表示できない理由がありますか。</p>	<p>現在、パンフレットには表示しています。詳しくは三愛総合健診センターにご相談ください。</p>